



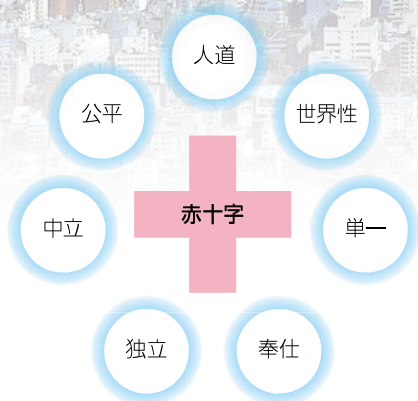
あなたの「夢」を
応援します



 日本赤十字社 神戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

看護職員募集案内

赤十字は「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」という7つの普遍的な原則（赤十字の基本原則）のもとに、世界最大のネットワークを持って活動する人道機関です。



赤十字病院は、日本赤十字社の1つの事業として位置づけられ、全国で91の病院を医療法における公的医療機関として運営しています。地域に根ざした質の高い医療を提供し、患者さまだけでなく、医師や看護師など医療スタッフからも選ばれる病院を目指しています。

病院の基本理念

医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、みなさまの健康に奉仕いたします。

看護部の理念

わたくしたちは、神戸赤十字病院の理念に基づいて患者さまの人権と意思を尊重し、安全と安心をモットーに患者さま中心の看護を提供いたします。

当院が期待する看護師像

- ① 社会状況を認識し積極的な能力開発を行い、看護師として自律できる。
- ② 科学的、倫理的判断の基に、適切なケアができる。
- ③ チーム医療を推進できる。
- ④ 豊かな感性と創造力を持ち、柔軟に対応できる。
- ⑤ 赤十字職員として自覚を持ち、行動できる。

Message

神戸赤十字病院 看護部長 松本 ゆかり

赤十字の理念である、「人道・博愛」の赤十字精神のもと、患者さまの尊厳を守り、こころのこもった看護実践を目指して

当院は神戸市のほぼ中心、HAT神戸 (Happy Active Town) に位置し、隣接する兵庫県災害医療センターと連携し急性期医療・看護を提供しています。

看護部では、赤十字精神のもと、時代のニーズに応じた安全・安心な看護を提供できる人材育成、キャリアアップできる教育体制を整えています。新人教育にも尽力を惜しまず取り組んでおり、ひとりひとりを大切に個々の成長に寄り添いながら支援を行っています。

急性期看護、そして赤十字の特色でもある国内・国際救援活動にも力を入れており、皆さまの夢の実現に繋がる施設です。

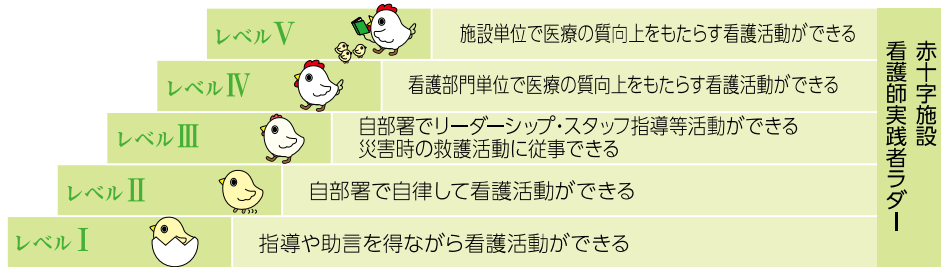
このパンフレットをご覧になった方、「百聞は一見に如かず」。当院で皆さまと出会える時をお待ちしています。



教育

赤十字施設キャリア開発ラダーでキャリアアップ

赤十字施設キャリア開発ラダーは、赤十字の理念に基づいた「赤十字の看護師の看護実践能力」の到達目標を段階的に明示したものです。新人の時期から生涯にわたり看護師は、段階を意識しながら能力開発を目指すことができます。また赤十字の理念に基づいた看護を提供し、看護及び医療の質向上につなげ、赤十字事業の推進者となる看護師の育成を図ります。



ラダーレベルごとに認定証を授与

看護師の声



大学卒業後、希望していたICUに配属となりました。当初は緊張感のある現場に不安な気持ちでいっぱいでしたが、知識・経験豊富な先輩方からのご指導の元、少しずつ成長することができています。教育体制も整っている他、キャリアアップのための支援もとても充実しており、自分の夢を叶えるために日々奮闘しています。一緒にステップアップしていきませんか。



私は大学卒業後、希望していた手術室へ配属となりました。はじめは手術室で働いていいのか不安でいっぱいでした。でも職場内の雰囲気がとても良く、先輩方も優しく指導してください。日々緊張感があり覚えることも多いので大変ですが、やりがいのある仕事だと思います。これからも、患者さまに寄り添った看護ができるよう頑張ろうと思っています。



私は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として、脳神経外科内科病棟で勤務しています。麻痺や高次脳機能障害によって生活の再構築を余儀なくされた患者さんのためにスタッフと相談、協力しながら日々看護を実践しています。患者さんのための看護を一緒にしましょう。

新人教育

段階的にステップアップできる教育環境

新人看護師 1 人にプリセプター 1 人がつくプリセプター制を導入しています。不安や緊張をときほぐし、看護へのやりがいへとつながるようプリセプターや教育担当者、看護チーム全体で新人看護師を支援しています。

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として生活に慣れる ・部署の一員として職場環境に慣れる ・指導者と共に看護業務を責任もって行う 	<p>4月～5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・看護基本技術研修 ・看護職のキャリアについて ・静脈ラダーⅠ 	<p>6月～7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローを受けながら、業務や看護ケアの根拠を考え、実践できる 	<p>8月～9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの一員として、フォローを受けながら、看護過程が展開できる 	<p>10月～2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーの役割を果たすことができる 	<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度にむけて自己の課題を明確にすることができる
	<p>院内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多重課題研修 ・フィジカルアセスメント研修 ・コミュニケーション研修 ・医療安全研修 ・セルフメンタルケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護基本技術研修 ・看護過程 ・静脈ラダーⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多重課題シミュレーション研修 ・コミュニケーション研修 ・看護を語ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラダー申請に向けて 	



医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・栄養士など 各専門職が“チーム医療”の一員としての成長を支援。

薬剤師 鈴木早苗

当院では各病棟に薬剤師が常駐しており、専門チームにも薬剤師が積極的に参加していますので、職種が違ってお互いに顔を覚えて話をしやすい環境があります。私は集中治療室・手術室の担当薬剤師と感染対策チームのメンバーを兼任していますので、毎日看護師の皆さんから質問を受けたり、患者さまに適切な治療やケアを受けていただくために一緒に考えたりと看護師と関わる機会が多い立場にあります。

皆さんとの何気ない会話から気づかされたり、それぞれの課題を乗り越えて成長する姿に刺激を受けたりしながら、多職種が連携するチーム医療の大切さを日々実感しています。



カンファレンスの様子

理学療法士 木下恵介

私はリハビリテーション科で理学療法士として勤務しています。仕事内容は患者さんの動作能力改善や歩行手段の獲得、ADL向上への介入です。私たちの仕事は主に患者さんの『できる』動作を増やしていくことです。それを生活場面で『している』動作にするためには看護師皆さんの協力が必要となります。週1回の定期カンファレンスで話し合う以外に、日々変化する患者の状態に後れをとらないよう、毎日看護師に日中・夜間の状態を確認し、時にはリハビリ場面を見てもらい、お互いコミュニケーションをとり患者さんのADL向上を図っています。看護師の言葉で気付かされる面もあり、お互い成長しながら仕事ができる職場です。



救護活動・国際救援活動

災害救護活動は赤十字の重要な活動です。甚大な被害をもたらした東日本大震災や熊本地震に救護班を派遣し、全国赤十字施設から派遣された救護班と共に医療救護、こころのケア、被災地病院支援を行いました。

●救護班員になるために

当院では、自然災害や大事故に備え救護班5班およびdERU（国内型緊急対応ユニット）2班を編成しています。赤十字概論や災害看護に関する研修を開催したり、救護実践訓練を行うなど、救護員として活動できる赤十字看護師を育成しています。

●国際活動要員になるために

赤十字施設の看護職が、段階的に国際活動実践能力を向上させていくための継続教育システムが国際ラダーです。看護実践能力と合わせて国際活動実践能力向上のために自己研鑽し、国際活動要員を目指すことができます。院内では語学研修の開催など、様々なかたちで国際活動を目指す看護師のキャリアアップ支援を組織的に行っています。

当院にはフィリピン、ウガンダ、ケニア、ハイチ、スマトラなどでの国際活動実績がある看護師が数名います。日常業務の他、学校をはじめとして様々な場所で国際活動の経験について講演するなど赤十字の普及活動も行っています。国際活動要員間では情報共有・能力維持、スタッフへの情報発信などの国際救援部会活動を行っています。



国際活動要員

看護師 金子千恵

私は、半年間フィリピン共和国に派遣され、日本赤十字社が支援するフィリピン保健医療支援事業に携わりました。現地事業チームと共に、山間にある村に赴き、僻地で人々が自身の健康を守るよう、地域保健ボランティアを通じた健康教育や救急法講習の実施、保健医療アクセスの向上に向けた活動を行いました。また、事業の効果を最大限残せるよう、フィリピン赤十字社や地域と協力連携しながら事業管理を行うことが、派遣要員として大切な仕事の一つでした。



人権と意思を尊重し、
安全で安心できる看護の提供をめざして



診療科目 (24診療科)

- 内科 ● 消化器外科 ● 眼科
- 心療内科 ● 乳腺外科 ● 耳鼻咽喉科
- 脳神経内科 ● 心臓血管外科 ● 皮膚科
- 呼吸器内科 ● 整形外科 ● 泌尿器科
- 消化器内科 ● 脳神経外科 ● 放射線科
- 循環器内科 ● 呼吸器外科 ● 麻酔科
- 糖尿病・代謝内科 ● 形成外科 ● リハビリテーション科
- 外科 ● 婦人科 ● 病理診断科

施設概況

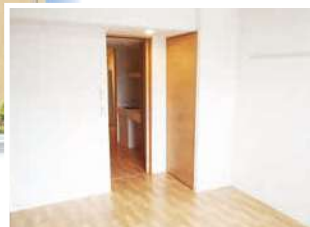
- 場所／神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-1 (HAT神戸)
- 敷地面積／14,000㎡ (兵庫県災害医療センターを含む)
- 延床面積／約27,000㎡ (地下駐車場を含む)
- 構造／鉄筋コンクリート造地下1階 地上7階建て (免震構造)
- 病床数／310床 (一般病棟50床 6単位) (集中治療室10床)
- 7対1看護



福利厚生

ここでなら実現する。充実した生活を応援!

快適な生活を応援するため、職員専用のマンションを設置しています。通勤にも便利でゆとりある生活がおくれます。



 **日本赤十字社** 神戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号

TEL 078-241-9214 (人事課直通)

FAX 078-241-7053 <http://www.kobe.jrc.or.jp>

おかけ間違いのないようお願いします。

携帯での資料請求はこちら

